

都市と自然の調和



写真1 阪急岡本駅より南東へ徒歩五分 6月9日13:56

私は今回の写真集の題材を何にしようかと考え、初めは「おしゃれの街岡本」にしようと思った。そして、友達といざ写真撮影に出かけてみるとおしゃれなお店より

も緑色の方が写真の多くの面積を占めている事に気づいた。もちろん岡本が山手にあるということもその大きな要因になっているのかもしれない。しかし、それだけでなく、町に住む人の意識の中に、住宅地と自然の共存に対する意識が大きく見られるように感じられ

た。というのも、わたしの住む町である大阪にももちろん山手はあるのだが、何かそれとは異質の「都市と自然の調和」ともいえるものを感じたのだ。そこで私は写



写真2 JR 摂津本山駅から一本西へそれると…6月9日14:32



写真3 岡本駅商店街を一本西にそれると…6月9日13:05

真を撮って歩き回りながら、その違いはどこから来るのか何度も考えてみた。そしてあることに気づいたのだ。大阪の住宅地で目にする木、とくに大木のほとんどは、公共のもの

なのである。つまり、国道沿いに植えられきれいに手入れの行き届いた木などがそのほとんどなのである。しかし、岡本の街を歩いていて見かける木の多くは、個人の家の敷地内にあるのである。つまり庭に、とても多くの木が植えられているのだ。しかも、その中には大木と呼んでも差し支えのないと思われるような大きなものも少なくない。(写真1、2

参照) その事に気づいて改めて今までおしゃれでモダンな住宅街だという印象ばかりが強かった岡本の街を見回してみた。すると意外にも、おしゃれでモダンな街というよりも、



写真4 JR 摂津本山駅前 6月9日15:36

ひっそりとしたどこかあか抜けのないような田舎っぽい雰囲気のある街が目に入ってきた。しかしそれは決しておしゃれな街よりも劣ったものなどではなく、私が今まで見てきた岡本の街とはまた違ったとてもいい街だと感じた。心が落ち着くような暖かい雰囲気だったからである。考えてみれば私は阪急岡本駅から学校までのルートしか歩いたことがなかった。そして、私が見るほんの一部だけから、東灘区全体のイメージを作ってしまったのだ。しかし、今まで私が毎日歩いてきたルートからはずれてみるといかにそれが思いこみであったかがよく分かった。今までは主に駅周辺を歩いていたので、初めに書いた通りしょっちゅうおしゃれなお店が目についた。しかし、そのすぐ裏にはひっそりとした長屋が並んでいたのだ。(写真3参照) 私が今まで毎日見てきたおしゃれでモダンな街岡本と質素で暖かい街岡本はほんとに目と鼻の先にあったのである。私が今回岡本の街を見ていて強く思ったことが一つある。それは山手の街でありながら、おしゃれな街という雰囲気を兼ね備え決して田舎だと感じさせないこと、しかしそれでいながら山手であり至る所に自然が見られる。おしゃれでモダンな都会的イメージと質素で暖かい田舎的イメージが見事に一つの街の中で調和し合っているのだ。今まで定着しきっていた都会的イメージが、岡本周辺を散策するに従って塗り替えられていくのは何とも不思議な感覚だった。しかし、それと同時にとても楽しいことでもあった。そして今までよりも岡本という街を身近に感じる事ができた。これも岡本の街が持つ暖かい雰囲気のためなのではないだろうか。